

取締役会の実効性評価 | 2023年度 アーカイブ

当社は、2015年度から、毎年、取締役会の実効性評価を年1回実施しています。2018年度および2021年度は、外部評価を実施しました。

実効性評価の目的および評価方法・プロセス

当社は、当社のコーポレートガバナンスを強化するため、取締役会の実効性を高めること、具体的には当社の「[コーポレートガバナンスに関する基本方針](#)」に定める当社の取締役会の役割や責任等のあるべき姿と現状との違いを認識し、定期的に課題抽出と改善活動を繰り返し、取締役会の機能を継続的に向上させていくことを目的として実効性評価を実施しています。2023年度は、取締役および監査役全員に対するアンケートを2024年2月から3月にかけて実施し、その回答の分析結果をもとに2024年4月の取締役会において意見交換を行いました。

評価項目

アンケート（無記名式）は、項目ごとに4段階の定量的評価による回答のほか、自由記入欄において自由に意見の回答ができる方式により実施しています。アンケートの大項目は以下のとおりです。

- ① 取締役会の構成
- ② 取締役会の役割・責務
- ③ 取締役会の運営状況
- ④ 指名報酬委員会の機能
- ⑤ 社外役員への支援体制
- ⑥ 独立社外取締役の役割・責務
- ⑦ 監査役の役割・責務/取締役会における監査役の指摘等への対応
- ⑧ ステークホルダーとの関係/サステナビリティ課題の検討
- ⑨ 関連当事者間の取引
- ⑩ 政策保有株式の検証
- ⑪ トレーニングの提供
- ⑫ 昨年度抽出した課題への取組

ア
合
な
白
し

2

-
-
-

耳